

職場体験（新田中学校）

・・残暑厳しい中、新田中学校2年生4名の生徒が区役所の仕事を体験しました。・・

9月14日（木）に新田中学校の2年生が地域事業所、学校、保育園、公共機関等で職場体験学習を行いました。区役所には、4名の生徒が、こども家庭支援課を中心とした様々な仕事を体験しました。緊張の中にも職業に対して真剣に学び取ろうとする意欲が感じられました。

こども家庭支援課であいさつの後、区役所の各課の仕事について説明を受けました。職員の説明を真剣に聞き、しおりに書き込んでいる姿が印象的でした。



午前中は、地域振興課での体験活動を行いました。今回は、健民祭等の地域行事に配られる缶バッジづくりを行いました。



午後は、網島にある「どろっぷサテライト」に行きました。どろっぷサテライトは「横浜市内在住の0歳～未就学児とその保護者および妊婦とその家族、子育て支援に関わる地域の方」が利用できる場所です。小さい子どもたちやお母さん方とわずかな時間でしたが、ふれあうことで貴重な体験をすることができました。



《こども家庭支援課の業務を体験してみようでしたか?》

体験された生徒さんに感想を書かせていただきました。

新田中学校 2年 内田 美穂

今日一日職業体験をさせていただき、「働く」ということにはいろんな形があることを知りました。港北区役所のイメージはパソコンに向かって黙々と作業を行うというイメージでしたが、実際はそうではなく地域を盛り上げるためにカンバッチ製作などをしてPRすることやスポーツ大会や駅伝の運営など、私たちの生活にかかわることを多くしています。固いイメージの区役所でしたが、区民の相談に乗ってくれたり、地域を盛り上げるためにPRをするなど頑張っていることを知りました。

どろっぷサテライトでは、子どもが近寄ってきてくれるか心配でしたが、そんな心配はいらず子どもと元気に遊ぶことができました。子どもとのコミュニケーションをとることは難しかったけど楽しそうにしてくれたのでよかったです。働くということを知れて本当によかったと思いました。

新田中学校 2年 金子 薫

この職業体験をさせていただき気づけたことがたくさんありました。最初におじゃまさせていただいたのは港北区役所です。区役所といたらデスクに向かって、もくもくと作業しているくらい感じではなく、みなさん明るくて上下関係もあまり厳しくなくてすごく楽しそうな感じでした。体験させていただいたのは、缶バッジづくりです。区役所とはまったく関係なさそうですが缶バッジには港北区のキャラクターのミズキーちゃんがついていてもっと知っていただこうと思って作っているのだそうです。マリノスとも関係していて、マリノスが戦うときにはみんなでユニフォームをきて応援するのだそうです。次におじゃましたのは地域子育て支援拠点の「どろっぷ」です。小さいお子さんがたくさんいてあまり小さい子どもと一緒にいない私にはとても楽しい時間をすごせました。

新田中学校 2年 江本 瑞希

区役所に職業体験をすることが決まったとき、楽しみという気持ちよりも不安が大きくて職業体験をする日まで緊張していましたが、職業体験をしてみると、ずっとパソコンに向き合っているような私の区役所のイメージとは違い、すごく楽しそうな職場だなと感じました。

区役所のことについてやバッジ作りのことなどを丁寧に説明していただき、とても分かりやすかったです。また、途中小さな地震が起こったのですが、あわでず、すぐに対応している姿が、すごいなと感動しました。

今回、貴重な体験をたくさんさせてもらったと思うので、これからの将来に生かせていきたいと思いました。

新田中学校 2年 千葉 小夏

区役所という職場は、個人情報を多く取り扱っていて、みんながパソコンに向かって静かにたんと仕事しているイメージがあったけど、全然ちがいました。パソコンに向かって仕事をしているのに変わりはないけど、楽しそうに会話をしながら自分の仕事をしていて、私も肩の力がぬけたし、ここで働いてみたいという気持ちが少しうまれました。事務や区民の相談にのるのはもちろんですが、地域を盛り上げるために工夫や努力をするのも区役所の大事な仕事という話を聞いて、地域のために動ける仕事ってとても素敵だと思いました。どろっぷサテライトでは、ふだん接することのない小さな子どもと触れ合うことができ、とても楽しかったです。